# 10のまとまり：数えて、分けて、たしかめる

## 講師用メモ・バージョン 2

5ページの授業用ボードです。1〜2ページは見本と対話、3〜5ページのC1〜C9は児童が行う課題です。数える物を24個以上、紙と筆記具を用意します。C8では14個と9個の二つの集まりを同時に置けるようにします。丸は一つの物として扱い、移動しても増減しないことを確認します。色だけで二つの集まりを区別せず、左右や囲みも確かめます。答えを先に示さず、どこで10を作ったか、どこから取ったかを児童が指して話せるようにします。解答例と違う分け方でも、元の数量と求めた数量が対応すれば認めます。順序・使うページ・時間は講師が選びます。実際の授業での試用はまだ行っていません。

練習問題の解答はこの講師用メモに分けています。編集版であり、実際の授業での試用はまだ行っていません。

## C1〜C3：かずと まとまりを、じぶんで たしかめる

C1. ずの まるを かぞえてください。10この まとまりと のこりを しめし、ぜんぶで なんこかを はなしてください。

解答・確認の観点：15個。10個と5個を児童が指すか囲む。重複・不足がないことを一つずつ照合する。

C2. おはじき 19こを、あいている わくに おいてください。10こと あと なんこか、かずと ずを たいおうさせて せつめいしてください。

解答・確認の観点：10個と9個。二つの枠へ19個だけを置き、残り9個と全体19個を区別する。配置を変えて確認してもよい。

C3.「10この まとまりが ふたつ あるので、ぜんぶで 2こ」と いう せつめいを、おはじきで たしかめて なおしてください。

解答・確認の観点：まとまりは2つだが、物は10個と10個で20個。二つのまとまりを実際に作り、まとまりの数と物の個数を分けて説明する。

## C4〜C6：たしざんを 10の まとまりで せつめいする

C4. ずの 8こと 5こを あわせます。ものを うごかして 10この まとまりを つくり、こたえと やりかたを せつめいしてください。

解答・確認の観点：13個。例：5個から2個を8個へ移し、10個と残り3個にする。8個から5個を移すなど別の正しい分け方も認める。移動で全体を変えない。

C5. 7こと 9この ブロックを あわせる ずと しきを かいてください。どちらの まとまりを 10こに するか、じぶんで えらんで はなしてください。

解答・確認の観点：7+9=16。9から3を7へ動かして10と6、または7から1を9へ動かして6と10。どちらを選んでも元の7個・9個と全体16個が対応することを見る。

C6.「8こに 5こを あわせる とき、5こを 2こと 4こに わけた」と いう せつめいは、ただしいですか。ものを ならべて たしかめ、ちがっていたら なおしてください。

解答・確認の観点：2個と4個では6個になり、元の5個を保っていない。5個を2個と3個へ分け直すなど、数量が保たれる方法を実物で示す。単に答え13を言うだけにしない。

## C7〜C9：のこり・ ちがい・ べつの やりかた

C7. 15この おはじきから 8こ とってください。とった ものと のこりを わけ、10の まとまりを どう つかったかを はなしてください。

解答・確認の観点：7個残る。例：10個から8個を取り2個と残り5個を合わせる。または残り5個から先に取り、その後10個から3個を取る。どちらも実物で15−8=7を確かめる。

C8. あかい ブロック14こと、しろい ブロック9こを、ひとつずつ くみにして くらべてください。あまる ほうと かず、しきと ずを しめしてください。

解答・確認の観点：赤が5個余る。9組を作り、赤の残り5個を指す。14−9=5、または9+5=14など、元の数量と余りが対応する式を認める。白9個と比較する活動であり、8個取る前問と混同しない。

C9. じぶんが つかった 10の まとまりの やりかたを、ひとつ えらんで せつめいしてください。せんせいに べつの やりかたを しめしてもらい、おなじ こたえに なるか ものを うごかして たしかめてください。

解答・確認の観点：このボードの加減のいずれかを選び、10の作り方・取り方を実演する。講師が元の数量を変えない別法を示し、児童が同じ全体または残りになることを確認する。言葉だけの感想でなく実物と対応させる。

## 利用と出典表示

© 2026 MomentDesk / PRYADKO DANILA. 無料・有料の授業で利用し、自分の授業用に変更できます。共有時はMomentDeskの出典表示を残してください。テンプレートの転売や、自作としての再公開はできません。

文部科学省・小学校算数編・小1A(1)(2)：数の構成、具体物を用いる加減（冊子78〜87/PDF84〜93）— https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002607_04.pdf#page=84